

令和6年度九州スマート農業技術情報連絡会議活動方針

1. 趣 旨

スマート農業実証プロジェクト（以下「実証プロジェクト」という。）が令和元年度より開始され、プロジェクトで得られた、技術的・経営的效果を幅広く農業の現場や関係機関等に発信するとともに、引き続き農業者等へ「見られる・試せる・体験できる」機会を提供することが重要となっている。

このため、九州農政局では、実証グループ（コンソーシアム）、試験研究機関、行政等の関係者を構成員とした「九州スマート農業技術情報連絡会議」を創設し、会議やイベント等の開催を通じて各種情報の提供や関係機関との連携を強化してきた。また、みどりの食料システム戦略に基づきスマート農業技術を活用した持続性の高い生産基盤の構築を支援してきた。

このような中、今般、食料・農業・農村基本法の改正や関係法案である「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用促進に関する法律」（以下、スマート農業技術活用促進法）が制定されたことから、6年度は当該法律の趣旨や今後の必要な取組について周知を行い、以下の活動を通じて、管内におけるスマート農業技術の現場実装をさらに加速化する。

2. 活動内容

①九州スマート農業技術情報連絡会議（8月27日）

- ・スマート農業技術活用促進法について
- ・これまでの実証プロの「技術的成果」及び「経営分析結果」のポイント 等

②スマート農業推進フォーラム（11月～12月）

- ・スマート農業技術活用促進法と今後の対応について
- ・テーマに併せて成果の報告や事例などの提供
- ・スマート農業関係者間のマッチング

③みどり技術ネットワーク地域会議の開催（②と同時開催を検討）

- ・みどりカタログ掲載技術の導入事例紹介

※農研機構九州沖縄農業研究センターとの連携を図る。

3. 参集範囲

①構成員

- スマート農業実証プロジェクトコンソーシアム構成員（令和元年～5年）
- 管内各県スマート農業担当部局及び県農業試験場担当者等
- 農研機構九州沖縄農業研究センター及び本部みどり戦略・スマート農業推進室等の担当者
- 九州農政局（各県拠点等を含む。）

②関係機関等担当者（農業支援サービス関連事業者等（利用者等）含む。）

③一般参加

4. 事務局

九州農政局生産部生産技術環境課

担当：農政調整官	里方 弘祐	096-300-6266
新技術実装係長	中熊 崇夫	096-300-6270
新技術実装係	宇田川 朝香	096-300-6273

九州のスマート農業加速化実証プロジェクト(スマート農業産地形成実証)等一覧

・当プロジェクトは2年間の実施期間となり、現在は令和4年～令和5年度のプロジェクトが進行しております。

1. 施設園芸

番号	年度	県	市町村	品目	実証代表機関(実証場所)	実証課題名
1	元	福岡	小都市	みずな、ちんげんさい、こまつな他	(株) RUSH FARMほか	水田地帯におけるAIとIoTを活用した葉菜類大規模経営の実証
2	元	熊本	阿蘇市	いちご	JA阿蘇いちご部会委託部	局所適時環境調節技術による省エネ多収安定生産と自動選別・パック詰めロボットを活用した調製作業
3	元	熊本	熊本市	なす、すいか	JA熊本市園芸部会茄子部会ほか	ICT技術やAI技術等を活用した「日本一園芸産地プロジェクト(施設園芸:なす・すいか)」の実証
4	元	大分	九重町	パブリカ	(株) タカヒコアグロビジネス	大規模施設園芸の生産性を飛躍的に向上させる技術体系の実装
5	元	鹿児島	曾於市	ピーマン	JAそおピーマン部会	センシング技術に基づく統合環境制御の高度化によるピーマン栽培体系の実証
6	2	長崎	南島原市	アスパラガス	南島原市	スマート農業技術の活用によるアスパラガス生産技術の確立
7	2	熊本	益城町	ヘビリーフ他	(株) 果実堂	パイプハウス土耕栽培葉菜類のIoT・機械化によるスマート化実証
8	2	宮崎	新富町	ピーマン、きゅうり	一般財団法人こゆ地域づくり推進機構	施設園芸野菜(ピーマン等)における自動収穫機を活用した「生産管理体制の構築」収穫・栽培管理の実証
9	2	佐賀	佐賀市 太良町	アスパラガス	inaho株式会社 (自動収穫ロボットを活用したスマート農業実証コンソーシアム)	自動収穫ロボットの導入による収穫作業の省力化及び自動化実証プロジェクト
10	3	熊本	阿蘇市	イチゴ(輸出)	JA阿蘇いちご部会委託部	日本産イチゴの輸出拡大を強力に後押しするスマート高品質生産・出荷体系の構築
11	4	福岡	北九州市	トマト	北九州市	デジタル技術を活用した農業支援人材の育成作業の集約と活用モデルの実証
12	4	鹿児島	鹿児島市	なす	(有)かこしま有機生産組合	ハウス内環境の統合制御を行い有機苗を安定生産し、安定供給をおこなうことで有機農業産地形成を実証

2. 水田作

1	元	佐賀	神埼市	米、麦、大豆	(有) アグリベースにいやま	九州北部2年4作(稲・麦・大豆・麦)大規模水田スマート一貫体系の実証
2	元	鹿児島	南九州市	水稲WCS	(農) 土里夢たかた	中山間地における水田の高度利用技術省力化と乳用牛育成管理省力化の実証
3	2	福岡	鞍手町	麦類、大豆、水稲	株式会社 遠藤農産	麦・大豆の品質向上と既存機械やシェアリングを活用した土地利用型大規模経営での実践型スマート農業技術体系の実証
4	2	熊本	熊本市	水稲、サトイモ	公立大学法人 熊本県立大学	スマート農業を導入した国際水準の有機農業の実践による中山間地域と棚田の活性化モデルの構築
5	2	宮崎	高千穂町	水稲、肉用牛	高千穂町	中山間地域の棚田等を支える農業生産・農業基盤の省力管理技術の実証
6	2	大分	竹田市	水稲	大分県 (大分県中山間スマート水田農業実証コンソーシアム)	中山間地域におけるスマート農業技術を活用した効率的かつ省労働力大規模水田農業経営モデルの実証

3. 露地野菜

1	元	大分	豊後大野市	白ねぎ	(株) オーエス豊後大野ファーム	白ねぎ大規模経営体における大苗定植と省力機械の導入による新たな効率的生産体系の実証
2	元	宮崎	西都市	ほうれんそう、キャベツ にんじん	(株) ジェイエイフーズみやざき	加工業務向け露地野菜における「機械化・分業化一貫体系」ほうれん草モデルブラッシュアップと水平展開の実証
3	元	宮崎	都城市	ごぼう、にんじん、ば れいしょ他	(株) 新福青果	多様な人材が集う農業法人経営による全員参加型のスマート農業技術体系(大規模露地野菜複合経営)の実証
4	2	長崎	島原市	ブロッコリー	JA島原雲仙	中山間地におけるブロッコリーの生産から出荷をつなぐスマート農業システム
5	2	宮崎	都城市	キャベツ、ニンニク他	有限会社太陽ファーム	畑地かんがいを利用したスマート農業技術による生育環境制御及びkintoneを活用した生産・加工・物流の一元管理体系の実証
6	4	大分	国東市	こねぎ	大分県農業協同組合	「大分味ーねぎ」産地用にチューニングされた生産・出荷の最適化による地域全体の経営健全化の実証
7	5	鹿児島	大崎町	ダイコン	テラスマイル(株)	ダイコンの大規模生産における生産工程管理のデジタル化による生産性向上と、余力を活用した有機栽培拡大による化学肥料・農薬使用量削減の実証

4. 畑作

1	元	熊本	大津町	大麦	(株) 東洋グリーンファーム	機能性食品素材加工工場を中核とした需要確定生産スマート農場クラスタの実証
2	元	鹿児島	徳之島町	さとうきび	(有) 南西サービス	クボタスマートアグリシステムを活用した農作業と管理の効率化並びにドローンを活用した管理作業の効率化の実証
3	2	鹿児島	鹿児島市	さつまいも	鹿児島県経済農業協同組合連合会	センシング技術を活用したさつまいもの高度栽培管理に基づく総合受託作業体系モデルの実証
4	2	鹿児島	鹿屋市	さつまいも	鹿児島きもつき農業協同組合	さつまいも生産に対するスマート農業一貫体系の導入による「超省力化・規模拡大」と「単収増加・高品質化」の実証
5	2	鹿児島	指宿市	キャベツ	株式会社指宿やさいの王国 (指宿スマート農業実証コンソーシアム)	キャベツの大規模栽培における先端技術を取り入れた施肥から収穫までの一体的省力化体系の実証
6	4	鹿児島	南九州市	さつまいも	国立大学法人鹿児島大学	センシングドローンとGPSレベラーのシェアリングによるさつまいも産地における基腐病軽減技術の実証
7	4	鹿児島	徳之島町	さとうきび	(有) 南西サービス	スマート農機を用いた徳之島全域における受委託調整と情報有効活用によるさとうきび産地形成

5. 畜産(ローカル5G含む)

1	元	鹿児島	霧島市	経産牛、育成牛	(農) 霧島第一牧場	次世代酪農業トータルスマートファームिंगの実証 ～草地利用から乳肉複合酪農までの自動化体系の実証
2	2	熊本	阿蘇市	肉用牛	熊本県農業研究センター草地畜産研究所	スマート農業技術を活用した広大な中山間地における周年放牧システム体系の実証
3	2	鹿児島	三島村	肉用牛	三島村肉用牛生産組合	離島の畜産振興にむけて～畜産ネットシステムの構築・実証
4	2	鹿児島	鹿児島市	肉用牛	株式会社カミチクホールディングス (カミチクススマート畜産実証コンソーシアム)	スマート畜産技術の導入による人手不足の解消と経営改善の実証
5	4	鹿児島	鹿屋市	肉用牛	(国) 鹿児島大学農学部	ローカル5Gを活用した画像解析・見回りロボットによる大規模高品質と牛肥育体系の省力化
6	5	宮崎	都城市	豚	(株) 富士通総研	宮崎県の肥育豚育成におけるITを活用した飼料活用の低減・経営高度化実証

6. 果樹

1	元	長崎	佐世保市	温州みかん	JA長崎西海農協ささげ広域かんきつ部会	温州みかんの生産から出荷をデータ駆動でつなぐスマート農業技術一貫体系の実証
2	2	長崎	大村市	びわ	長崎県農林技術開発センター	びわの品質を保証する生産から出荷までのスマート農業技術の実証と農福連携の推進
3	3	長崎	長与町	カンキツ	JA長崎せいひ ことのうみ柑橘部会	withコロナ対応型地域内新流通の構築とカンキツの計画出荷によるスマートフードチェーンの実証

7. 茶(ローカル5G含む)

1	元	鹿児島	志布志市	茶	鹿児島堀口製茶(有)	IoT技術・ロボット化技術を活用した大規模スマート茶業一貫体系の実証
2	2	鹿児島	志布志市	茶	鹿児島堀口製茶(有)	ローカル5Gに基づく超高速・超低遅延による自動運転(Level3) およびDrone/LPWA 等による圃場センシング・AI など営農・栽培データ解析による摘採計画の最適化体系及びシェアリングの実証
3	4	長崎	東彼杵町	茶	長崎県農業協同組合	生産から出荷までのデータ共有によるスマート茶業と茶園管理省力機械のシェアリング

※黄色箇所:令和5年度の新規採択地区

ホーム > 報道発表・新着情報 > 農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律（スマート農業技術活用促進法）に関する県別説明会の開催及び参加者の募集について

プレスリリース

農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律（スマート農業技術活用促進法）に関する県別説明会の開催及び参加者の募集について

ポスト 印刷

令和6年8月21日
九州農政局

第213回通常国会において成立した、「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術活用促進法」について、以下のとおり九州管内各県において説明会を開催します。

1.概要

農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律は、6月14日に成立したところです。
農業者、農業法人、JA、都道府県、市区町村、農機メーカー、農業支援サービス事業者、食品等事業者、大学、公設試験研究機関等の幅広い関係者の皆様を対象に、本法に基づく計画の認定制度を説明する県別説明会を開催いたします。
本法は、生産と開発に関する2つの認定制度を設けるもので、認定を受けた農業者や事業者の方は税制や金融等の支援措置を受けることができます。
詳細はこちら→（農林水産省HP）<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/houritsu.html>

2.各県における開催日時及び場所

開催日時	地区	会場	会場所在地	定員
9月2日(月曜日) 13時30分	鹿児島県会場	鹿児島県社会福祉センター別館大会議室	鹿児島市鴨池新町1-7	100名
9月3日(火曜日) 13時30分	佐賀県会場	佐賀県農業試験研究センター講堂	佐賀市川副町南里1088	100名
9月4日(水曜日) 13時30分	熊本県会場	熊本県庁地下大会議室	熊本市中央区水前寺6-18-1 行政棟本館B1階	350名
9月9日(月曜日) 13時30分	福岡県会場	千代合同庁舎3階C301B会議室	福岡市博多区千代1-20-31	70名
9月10日(火曜日) 13時30分	宮崎県会場	宮崎県庁内会議室（防災庁舎 防73号室）	宮崎市橘通東2-10-1	50名
9月11日(水曜日) 13時30分	大分県会場	大分県庁舎91会議室	大分市大手町3-1-1	40名
9月13日(金曜日) 13時30分	長崎県会場	長崎県庁3階302～305会議室	長崎市尾上町3-1	90名

3.開催方法

対面及びWeb（Microsoft Teams）方式の併用
（対面を主体に開催しますので、可能な限り対面による参加をお願いします。）
Web方式による参加を希望される方には前日までにMicrosoft Teamsの会議URLを送付します。

4.議事

- (1)農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律の説明（45分）
- (2)意見交換（40分）

5.申込方法

説明会に参加を希望される方は、「参加申込フォーム」に必要事項をご記入の上、各開催日の2開庁日前の正午までにお申し込みください。

参加申込フォーム

※参加会場ごとに申込フォームがございますのでご注意ください。

〈鹿児島県会場〉 <https://forms.office.com/r/Hf2NT2eZHG>
〈佐賀県会場〉 <https://forms.office.com/r/Cc31E68vPp>
〈熊本県会場〉 <https://forms.office.com/r/u2HAnA1TmR>
〈福岡県会場〉 <https://forms.office.com/r/vsJ48GNBrw>
〈宮崎県会場〉 <https://forms.office.com/r/knG708cWmt>
〈大分県会場〉 <https://forms.office.com/r/3ZtczgSuX4>
〈長崎県会場〉 <https://forms.office.com/r/ppjYr3LJEW>

6.参集範囲

九州の各県、市町村、JA、農業者団体等、農機メーカー、農業支援サービス事業者、食品等事業者、大学、公設試験研究機関等

7.留意事項

- (1) お申し込みは先着順とし、申込期間内に定員に達した場合は申し込みを締め切らせていただきます。
- (2) ネットワーク環境により動作に支障が出る場合がありますので、可能な限り対面参加をお願いします。なおWeb参加に係るデータ通信料等については参加者様のご負担となります。
- (3) 参加用URLの転送やSNSでの公開はお控えください。

〈対面で参加される皆様へ〉

駐車場につきましては会場ごとに以下をご確認ください。

○福岡県、大分県会場

会場に駐車場がありませんので、近隣の有料駐車場のご利用または、公共交通機関でのご来場をお願いします。

○佐賀県会場

会場駐車場が利用できます。（ただし駐車台数に限りがございますので、乗り合わせのご来場にご協力をお願いします。）

○長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県会場

県庁駐車場が利用できます。（ただし駐車台数に限りがございますので、満車の場合は近隣の有料駐車場のご利用をお願いします。）

8.報道関係者の皆様へ

- (1) 報道関係者で取材を希望される方には、別途席をご用意します。上記「5.申込方法」に従いお申込みください。その際、報道関係者であり、取材を希望される旨を必ず明記してください。
- (2) カメラ撮影は冒頭のみ可能です。
- (3) 当日は受付で記者証等の身分証を御提示いただきますので、あらかじめご承知願います。

お問合せ先

生産部生産技術環境課

担当者：里方、中熊、宇田川

代表：096-211-9111（内線4531）

ダイヤルイン：096-300-6266